

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報をも匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただきます。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	非小細胞肺癌における肺癌マルチ遺伝子検査(Amoy Dx検査)の有用性についての検討
研究責任者	腫瘍内科部長・佐伯祥
本研究の目的・意義	現在、非小細胞肺癌では、複数のドライバー遺伝子異常が同定されており、遺伝子変異に基づいて治療方針が決定する事がガイドラインで推奨されています。従来は単一の遺伝子検査が行われていましたが、検査対象遺伝子の増加により近年では複数の遺伝子変異を同時に解析できる、マルチプレックス遺伝子検査が主流となっており、治療開始前にマルチプレックス遺伝子検査を行うことが必須となっております。現在「オンコマインDx Target TestマルチCDxシステム」、「AmoyDx肺癌マルチ遺伝子PCRパネル(AmoyDx)」、「肺がんコンパクトパネルDxマルチコンパニオン診断システム」の3つのマルチ遺伝子検査が保険収載され、日常臨床で使用されております。それぞれ、検査成功割合、解析遺伝子数、検体提出から結果返却までの時間などに違いがあり、どのように検査を使い分けていくかは今後の課題とされています。熊本中央病院呼吸器内科・腫瘍内科では肺癌遺伝子マルチ遺伝子検査としてAmoyDx検査を中心に行なっておりますが、検査成功割合、遺伝子変異陽性率などを評価する事で、AmoyDx検査の肺癌マルチ遺伝子検査としての有用性や当院での遺伝子検査の質の評価を行うことを本研究の目的としています。
研究予定期間	委員会承認後～2025年3月31日
該当資料・データ	対象となる患者さま: 2022年3月～2024年5月まで、熊本中央病院呼吸器内科・腫瘍内科でAmoy Dx遺伝子検査を提出した非小細胞肺癌患者さま 利用する情報: 疾患背景、検査所見を収集し、解析を行います。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、検査日など個人情報を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、連結可能匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は厳重に管理します。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話: 096-370-3111(代表) 担当者: 佐伯 祥(腫瘍内科)